

令和5年度 第1回 淡海の川づくり検討委員会

甲賀・湖南圏域河川整備計画(変更原案)

1



目次

1. 河川整備計画変更の趣旨
2. 甲賀・湖南圏域の概要
3. 河川整備計画策定後の取り組みについて
4. 甲賀・湖南圏域河川整備計画の変更内容について
5. 河川整備計画変更対象河川の整備内容について
6. 河川の維持管理
7. 超過洪水時の被害を最小化するための取り組み
8. 変更原案に対する意見



1. 河川整備計画変更の趣旨

3



河川整備計画

〈これまでの経緯〉

滋賀県では、琵琶湖(及び瀬田川)に流入する主要な河川の流域により圏域を分割し、河川整備計画を策定しています。

甲賀・湖南圏域河川整備計画は、平成22年11月5日付けで国土交通大臣から認可を受けていました。その後、関係機関や流域住民との協議により河川整備を実施する区間が追加となりました。それに伴い、平成26年12月11日付けで変更認可を受けました。

〈河川整備計画変更の主旨〉

今般、計画の熟度が高まり整備内容が定まった河川や事業進捗が図られた河川について、整備進捗を図ることを目的に整備計画を変更します。

滋賀県圏域分割図



4



甲賀・湖南圏域の一級河川



当圏域内には、132の一級河川があります。現在の河川整備計画では、野洲川(指定区間)、杣川、家棟川[湖南省市]、由良谷川、落合川、家棟川[野洲市]、童子川、山賀川(新守山川)、葉山川(支川中ノ井川を含む)、草津川、金勝川、北川、狼川 を計画的に整備を推進する河川として選定しています。



甲賀・湖南圏域の一級河川

〈計画的に整備を行う河川〉

H20 中長期整備実施河川の検討(事業着手河川の優先度ランク付け)

逼迫した財政状況の中で、効率的・効果的に事業を実施するために、**優先的に事業展開する河川を選定し、ランク付け**



甲賀・湖南圏域においては、以下に挙げる河川を優先的に整備を行う河川として選定し、甲賀・湖南圏域河川整備計画(平成22年11月策定)に位置付け

○Aランク河川に位置づけ(緊急性の観点から整備実施を必要とする河川)

野洲川(指定区間)、家棟川[湖南省市]、由良谷川、落合川、山賀川(新守山川)、葉山川(支川中ノ井川を含む)、草津川、金勝川、北川、狼川

○Bランク河川に位置づけ(緊急性の観点からはAランクの次に整備実施を必要とする河川)

杣川、家棟川[野洲市]、童子川



河川整備計画変更までの流れ

① 変更対象河川の調査検討

② 河川整備計画(変更素案)の策定(圏域)

← 意見 → 関係する地域住民への説明[令和4年12月11日(日)]

③ 河川整備計画(変更原案)の策定(圏域)

← 意見 → 関係する地域住民への縦覧(地域住民の意見:河川法第16条の二4)
[令和5年3月28日(火)~令和5年4月28日(金)]

← 意見 → 淡海の川づくり検討委員会(学識経験者の意見:河川法第16条の二3)
[令和5年8月2日(水)]

④ 河川整備計画(変更案)の策定(圏域)

← 意見 → 関係市町の意見聴取(関係市町長の意見:河川法第16条の二5)

⑤ 国土交通省(近畿地方整備局)へ申請

国土交通省(近畿地方整備局)の認可

⑥ 河川整備計画(変更)の策定

7

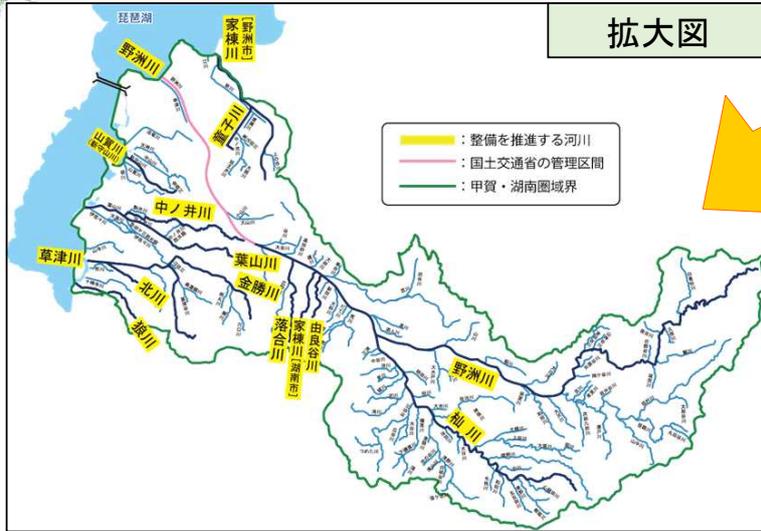


2. 甲賀・湖南圏域の概要

8



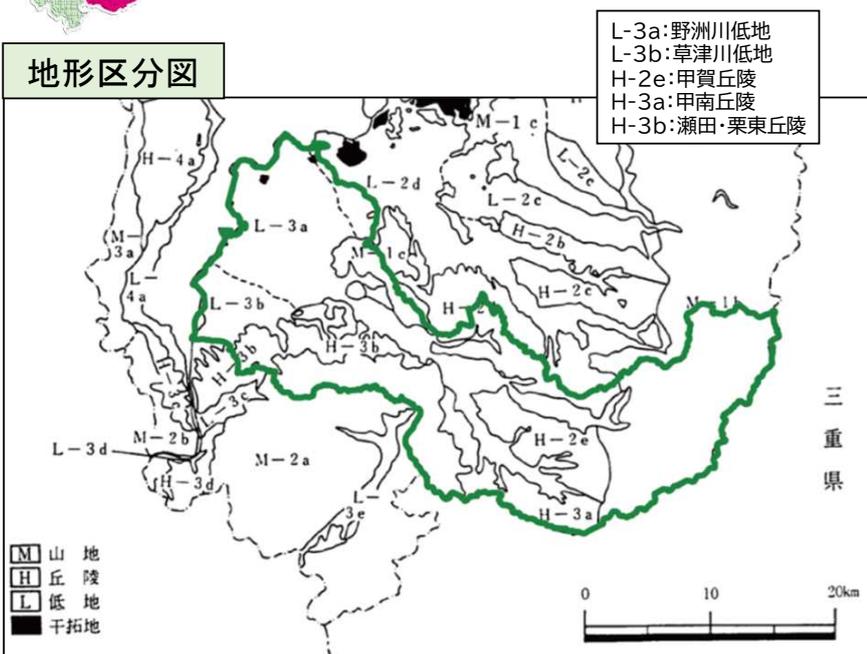
甲賀・湖南圏域の概要



圏域面積：629km²
 関連市数：7市（草津市、守山市、栗東市、野洲市(日野川流域を除く)、大津市(草津川上流部の一部)、甲賀市(一次信楽川、および大戸川流域を除く)、湖南市(日野川流域を除く)）
 一級河川数：132河川（琵琶湖を含む）
 （うち、琵琶湖流入河川数=16河川）



地形



○地形
 甲賀圏域の東側は鈴鹿山脈南嶺となっている。甲賀丘陵などの丘陵地帯に挟まれた野洲川低地には、野洲川や杉川が流れている。

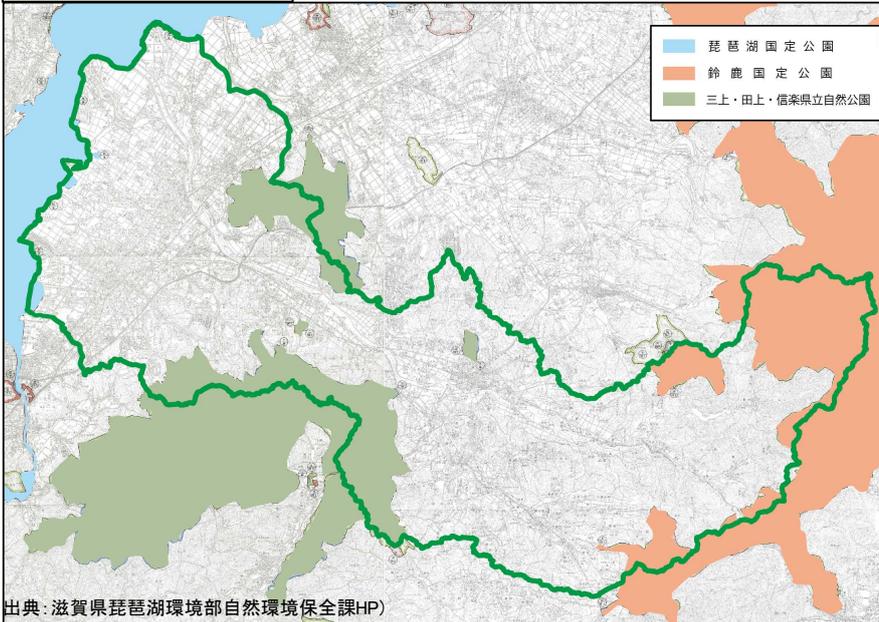
湖南圏域は、北部の野洲川低地を野洲川や家棟川(野洲市)、山賀川(新守山川)が流れており、それぞれ琵琶湖に注いでいる。また、南部の草津川低地は草津川や葉山川が流れており琵琶湖に注いでいる。

出典：出典：滋賀県の自然／(財)滋賀県自然保護財団(1979)



自然・景観

自然公園位置図



出典：滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課HP)

○自然・景観

初めての国立公園として指定された「琵琶湖国立公園」や鈴鹿山脈一帯の「鈴鹿国立公園」、圏域中央部に点在する「三上・田上・信楽県立公園」など良好な自然環境が広がっている。



歴史、文化財

大岩山古墳群

文化財位置図

水口城址

草津宿本陣

常楽寺三重塔

出典：滋賀県県民分化課 HP
：滋賀県教育委員会 HP

○歴史

東海道や中山道等の主要な街道に沿って宿場町が栄えていた。なかでも土山、水口、石部、草津、守山等の宿場町を中心に街道沿いに産業や文化が栄えていた。

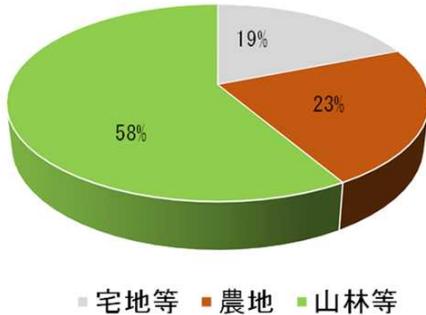
○文化財

甲賀湖南圏域の文化財は、国指定が260件、県指定が126件ある。



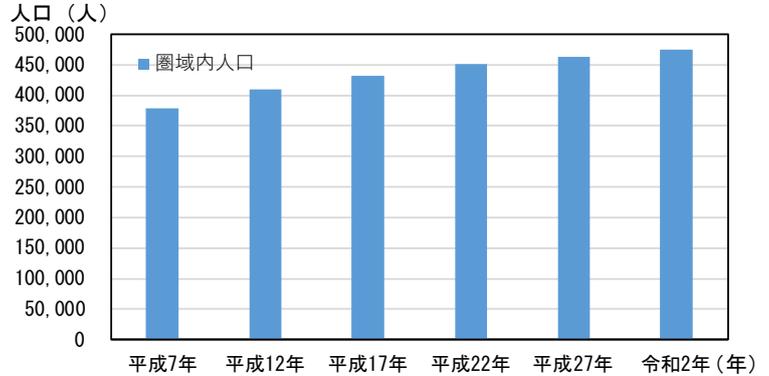
土地利用、人口・産業

圏域の土地利用の割合 (R4)



出典：国土交通省土地利用メッシュデータ(令和4年)

圏域関連市の人口



出典：令和2年国勢調査

○土地利用

令和4年度の圏域の土地利用は、山林等が約58%と最も高く、次いで農地が約23%、宅地等が約19%となっている。

○人口

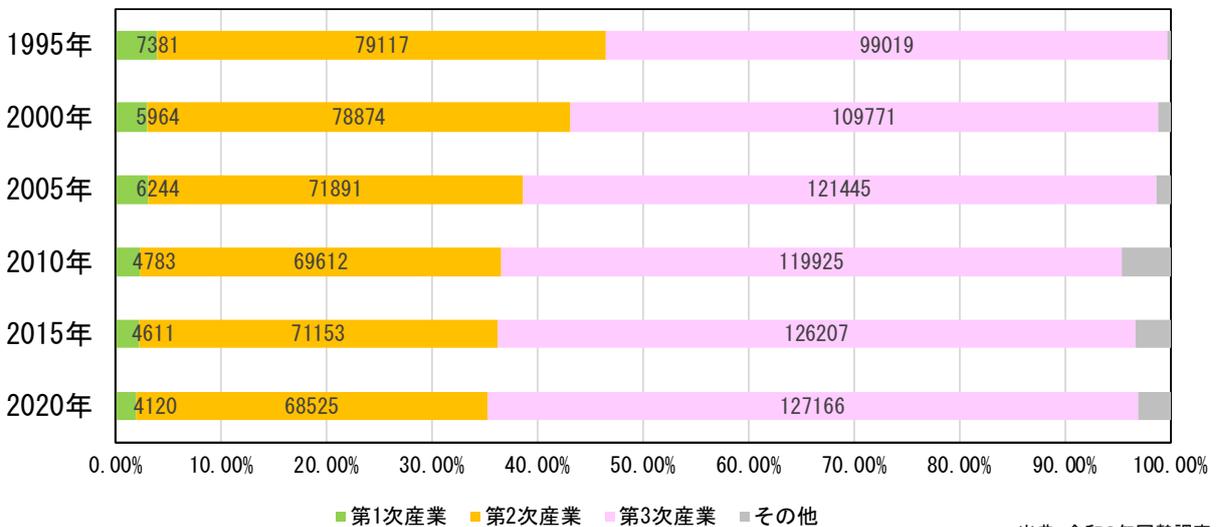
人口変動傾向は平成7年～令和2年にかけて増加傾向です。

※ 圏域関連市とは草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、大津市



土地利用、人口・産業

圏域の産業(産業別人口)



出典：令和2年国勢調査

○産業

第3次産業が6割以上を占めている。

利水についての現状



17

環境についての現状

植生



タコアシ
純絶滅危惧種
杣川と野洲川の合流点に群生



カワジシャ
準絶滅危惧種
野洲川に生息

魚類



ギギ
絶滅危惧種
野洲川に生息



アカザ
絶滅危惧Ⅱ種/希少種
野洲川に生息

凡例

※1：環境省版レッドリストによるカテゴリー

※2：滋賀県レッドデータブックによるカテゴリー

動物等



トノサマガエル
準絶滅危惧/要注目種
野洲川流域で確認



オオサンショウウオ
絶滅危惧Ⅱ類/絶滅危惧種
野洲川流域で確認



オオタカ
準絶滅危惧種/希少種
野洲川流域で確認



カワセミ
希少種
北川に生息



チュウサギ
準絶滅危惧種/希少種
金勝川、北川で確認



琵琶湖・湖辺に関する現状と課題

〈琵琶湖に関するこれまでの取り組み〉

- 「マザーレイク21計画」(H21年)
 - 土地利用や産業活動の変遷、生活様式の変化等により、琵琶湖を取り巻く状況は依然として厳しく、水質の保全、水源の涵養、自然的環境・景観の保全等が緊急の課題となり、琵琶湖保全の指針として策定された。
- 水質保全や湖辺の保全をはじめ健全な琵琶湖の保全に向けた対策を実施している。
 - <実施内容>
 - ・ 水質の改善を図るため底質改善・流入負荷削減対策の実施。
 - ・ 砂浜の侵食対策を目的とした湖岸保全・再生事業の実施。
 - ・ 湿地帯の保全・再生を目的とした自然保全・再生事業の実施。

〈水質保全に係る現状と課題〉

- 昭和58年に中間水路(矢橋帰帆島)において、平成3年に赤野井湾において、アオコの発生が初めて確認されました。
- 南湖の水質の現状(R2年度)は、COD 5.3mg/l、SS 23mg/l、全窒素0.24mg/l、全りん0.015mg/lで基準を満たしていない。
 - 面源負荷削減対策の充実強化等、さらなる汚濁負荷削減対策が求められている。

〈湖辺の現状と課題〉

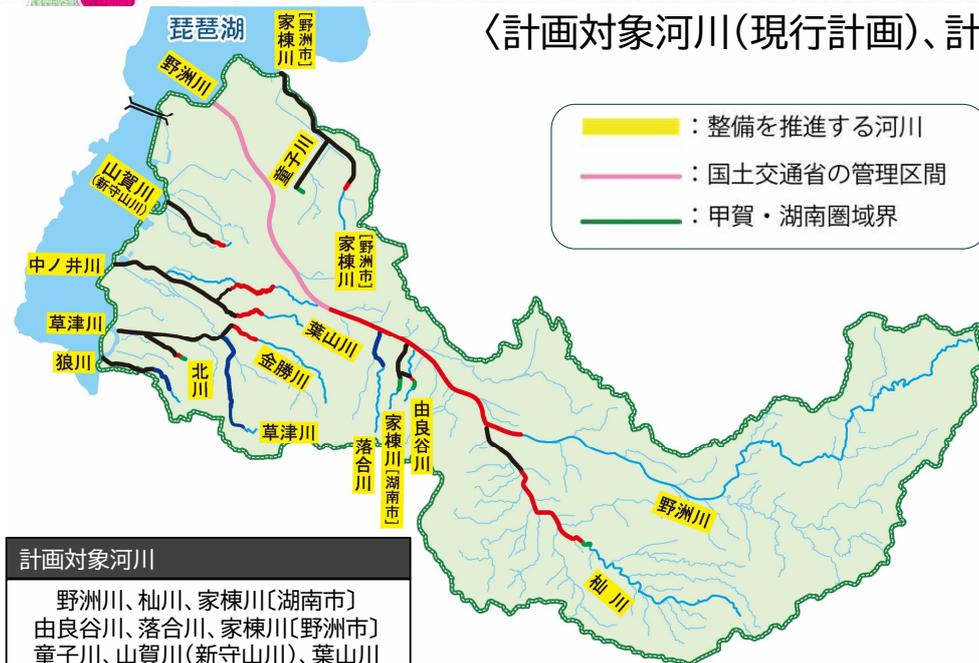
- 湖辺域では、昭和30年代後半から現在までの埋め立て、圏域内河川の改修、干拓やほ場整備等の事業により、内湖や網目状の水路、冠水しやすい低地、砂浜や湖畔の柳群、ヨシやマコモ群落等が姿を消したり、区域が減少したりすることとなった。
 - 琵琶湖が本来持っている自然豊かな湖辺を取り戻すことが求められている。



3. 河川整備計画策定後の取り組みについて

3.1 全体概要

〈計画対象河川(現行計画)、計画対象期間〉



- : 整備を推進する河川
- : 国土交通省の管理区間
- : 甲賀・湖南圏域界

- ### 凡例
- ↔ **実施済み区間**
既に整備が完了している区間
 - ↔ **整備実施区間**
整備計画期間中に整備を実施する区間
 - ↔ **整備時期検討区間**
整備の実施時期を検討する区間
 - ↔ **調査検討区間**
整備実施に向けた調査・検討を実施する区間

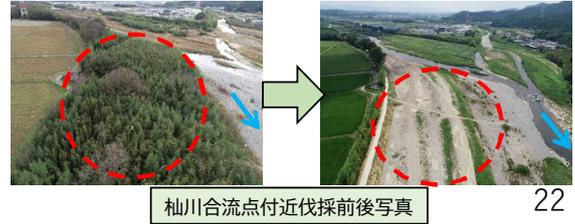
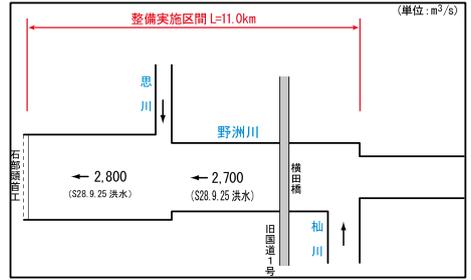
計画対象河川
野洲川、杣川、家棟川〔湖南市〕 由良谷川、落合川、家棟川〔野洲市〕 童子川、山賀川〔新守山川〕、葉山川 中ノ井川、草津川、金勝川、北川、狼川
計画対象期間
概ね20年

3.2 野洲川(指定区間)

〈計画の概要と改修の状況〉

- 戦後の洪水で最大の流量となる昭和28年9月25日洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、石部頭首工地点において2,800^m³/sとします。
- 野洲川広域河川改修事業として杣川合流点で伐採を行いました。

- 昭和9年 室戸台風
住家 全壊120戸、半壊105戸
非住家 全壊366戸、半壊63戸
- 昭和28年 台風13号
堤防決壊
(中主町野洲川北流右岸堤防、出鼻出露、笠原井関)
- 昭和40年 台風24号
堤防決壊
(今浜新田で14か所延べ768m、川田地先延べ98m)
田畑230反埋没





3.3 杣川

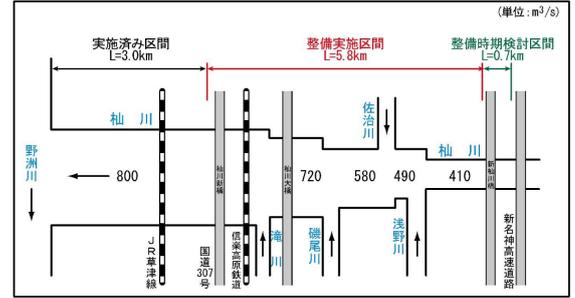
〈計画の概要と改修の状況〉



昭和28年9月25日 台風13号

○昭和28年9月
台風13号

家屋全壊:22戸
半壊:93戸
流失:8戸
床上浸水:3,619戸
床上浸水:979戸



- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は浅野川合流点において410m³/sとします。



3.4 家棟川〔湖南省市〕、由良谷川

〈計画の概要と改修の状況〉

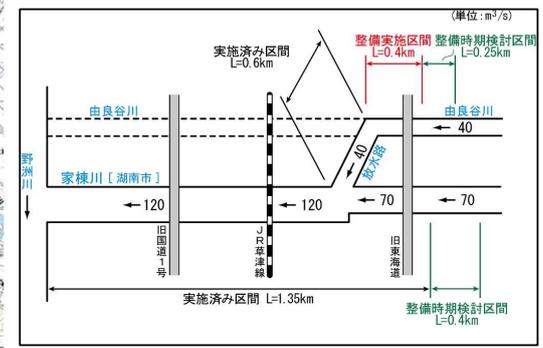


○昭和40年9月
台風24号

農地浸水:320ha
床下浸水:70戸
床上浸水:30戸

○昭和46年8月
台風23号

農地浸水:280ha
床下浸水:80戸
床上浸水:40戸



①森北公園付近より上流を望む(家棟川〔湖南省市〕)



②中之道橋より下流を望む(由良谷川)

- 50年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 家棟川(湖南省市)の計画高水流量は、由良谷川合流点において70m³/sとし、支川の由良谷川については家棟川(湖南省市)合流点において40m³/sとします。



3.5 落合川

〈計画の概要〉

- 天井川を形成しており、破堤氾濫が生じた場合の被害は甚大なものが予測されることから早急に治水安全度の向上が図れるように整備実施に向けて調査・検討を進めます。



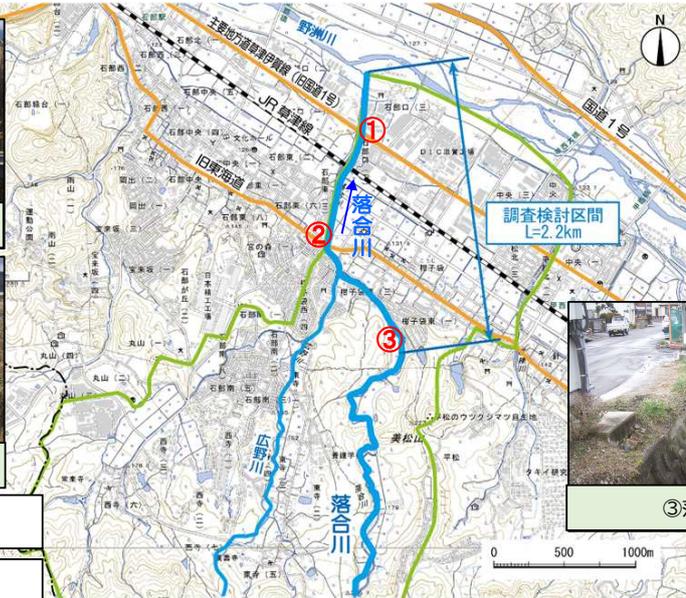
①石部大橋上流



②落合川橋下流

流域面積 8.71km²

流路延長 約4.5km



③落合川上流

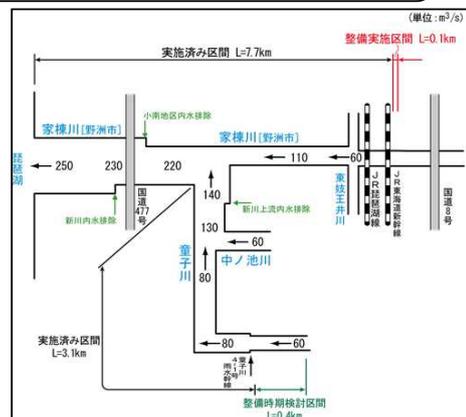


3.6 家棟川〔野洲市〕、童子川

〈計画の概要と改修の状況〉



- 昭和55年7月 梅雨前線
支川の新川、大堀川、東込田川、童子川で、
床下浸水9戸の被害が発生
- 平成25年9月 台風23号
農地浸水:40ha 床下浸水:27戸



①無名橋より下流を望む (家棟川)



②童子川橋より下流を望む (童子川)

- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、JR琵琶湖線交差点(河口から6.8km地点)において60m³/sとし、支川の童子川については一本橋(河口から6.7km地点)において80m³/sとします。



3.7 山賀川(新守山川)

〈計画の概要と改修の状況〉

- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、古高1号雨水幹線合流点において90m³/sとします。
- 大津湖南幹線交差点で現川取付けを行っています。

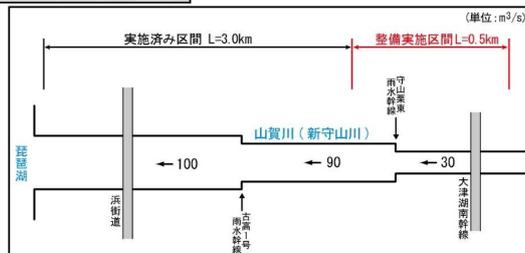
平成11年6月 梅雨前線



守山市 金森町

○昭和34年9月 伊勢湾台風
床下浸水:3,300戸
床上浸水:1,800戸

○平成11年6月 梅雨前線
浸水:3.0ha
床下浸水:11戸



施工前

守山市 三宅町



施工後

守山市 三宅町



3.8 葉山川(支川中ノ井川を含む)

〈計画の概要と改修の状況〉

- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 葉山川の計画高水流量は、中ノ井川放水路合流点において70m³/s、支川中ノ井川放水路は、葉山川合流点において80m³/sとします。
- 中ノ井川の蜂屋工区において浚渫を行いました。



①草津東高校付近より上流を望む(葉山川)

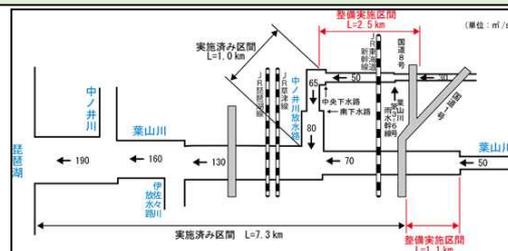
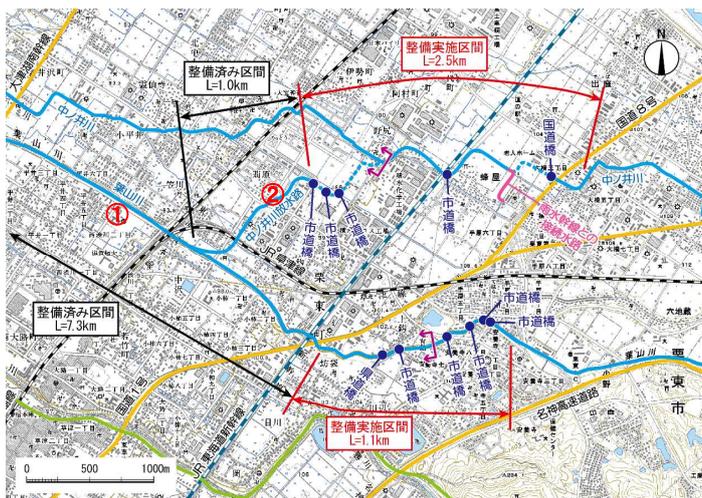


②下鈎橋より上流を望む(中ノ井川)

<葉山川>

○昭和36年6月 梅雨前線
草津市
床下浸水:361戸
床上浸水:14戸

○昭和57年8月 台風10号
粟東市中沢地先
床下浸水:153戸
床上浸水:49戸



【蜂屋工区】済生会病院前浚渫(R4.9施工)



施工前



施工後



3.9 草津川

〈計画の概要〉

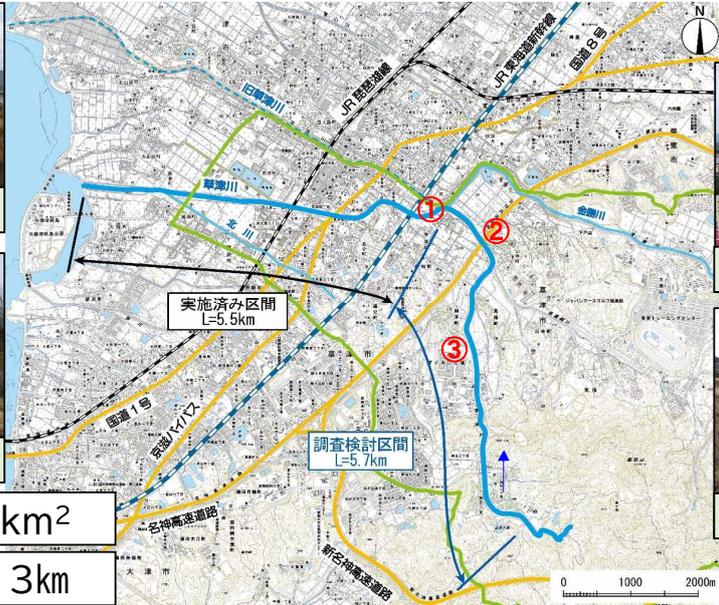
- 金勝川より上流は、天井川を形成しており、破堤氾濫が生じた場合の被害は甚大なものが予測されることから早急に治水安全度の向上が図れるように整備実施に向けて調査・検討を進めます。



①金勝川合流上流



③草津川下流を望む



②草津川下流左岸堤内地を望む



②名神高速道路を望む

流域面積 48.3km²

流路延長 約11.3km



3.10 金勝川

〈計画の概要と改修の状況〉

- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、草津川合流点において200m³/sとします。
- 草津川合流点から1.2km付近で切り下げ工事を行いました。

平成25年9月 台風18号



○昭和28年 洪水
下流の屈曲部が破堤
多大な被害が発生

○平成25年9月 台風18号
目川池下流で堤防が決壊
家屋全壊：1戸
半壊：2戸
床下浸水：6戸



②灰塚橋下流



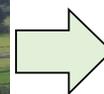
①高橋下流



①高橋上流



施工前(令和元年8月撮影)



施工後(令和4年5月撮影)

草津川合流点から1.2km付近 30